科目名	3	建築構	造力]学Ⅲ										
科目名(英)														
単位数		2単	位	B	寺間数	308	 時間	担当者	1	古賀 俊光				
実施年度		2019:	——— 年度	実	施時期	前	 ī期	実務家教員 担当科目	設	計事務所にて 設計担当				
対象学科・学年	3	建築工学 和	科 3年					<u> </u>		10 H 1 1 - 1				
授業概要	う木	に基礎知 オ料の性質	『識の習質、許容	得を目的と 応力度設言	:する。構造 †の考え方	カ学Ⅲでは、 、断面の性質	、不静定構造 などについて	を対象として、	応力度・ひる ミ梁のたわみ	を計算できるよ ずみ度の算定、 と断面力算定、				
授業形式	講	義: C)演	習: △	実習:	実	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 技能	態度意欲	断面一次-	モーメント・	断面係数を第	目標 することができ 算出することか	きる。						
(判注口1味/		0				とが出来る。 ることが出来	z							
		0				出することが								
テキスト・教材						שי שרכ״י	日へる。							
参考図書	Ė	学芸出版社	性 図説	! やさしい	構造力学									
	回数			授美	業項目•内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			授業外学修	指示				
	1	1 断面の性質(1)断面一次モーメント・図心 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	2	2 断面の性質(2)断面二次モーメント・断面係数 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	3	3 応力度(1)軸応力度 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	4	応力度(2)曲げ	応力度				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	5	応力度(3)					教科書の該当範	が囲を事前に読 <i>り</i>	んでおくこと				
	6	座屈∙確	認試験					教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
lest alle E. I	7	梁の変形	<u>.</u>					教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
授業計画	8	不静定構	黄造とは	、剛比の計	·算			教科書の該当範	団を事前に読ん	んでおくこと				
	9	固定モー	-メント法	(1)材端モ	ーメント・分	う割モーメント	•	教科書の該当範	団を事前に読ん	んでおくこと				
	10	確認試験	食(1)					教科書の該当範	頭を事前に読ん	んでおくこと				
	11	多層ラー	-メンの「	 こ力				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	12	弾性と塑	 !性					教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	13	全塑性モ	ニーメント	、崩壊荷重	<u> </u>			教科書の該当範	5囲を事前に読ん	んでおくこと				
	14	不静定ラ	ラーメング	の崩壊と保る	有水平耐力	1		教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	15	力学Ⅲσ)総まと	め				授業内容に係るおくこと	確認テストを実	施するので、復習して				
	(3)宿	宮題・レポ	一トを数	(回実施する	る。以上をT	下記の観点・語	割合で評価す	中で小テスト						
					言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
	定期試験 ◎ 40%													
評価方法	・ 小テスト © 40% 宿題・レポート © 20%													
		伯超'	レホー			© 				20%				
履修上の注意	Н	出席が10[回に満た	 _ない場合に	は、定期試験	験の受験資格	」 Aを与えない。)		1				

科目名	3	建築加	<u>モ</u>											
科目名(英)														
単位数		2単	単位			時間数	枚	301	時間	担当者		吉村 尚		
実施年度		2019	9年月	更	3	実施時	期	前	Ţ期	実務家教員 担当科目		建設会社にて 施工管理担当		
対象学科·学年	3	建築工学	:科	3年				<u> </u>		24114		<u> </u>		
授業概要	=	上工・地美	業工:	事の	算の基礎 漬算を理 を理解す	解する		する 責算を理解す	న					
授業形式	講	義: (Э	演	習: △	2	美習:	実	 技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他				'	目標					
	0							、説明するこ						
学習目標 (到達目標)		0							数量を拾うこと					
(判注口保)	_	0							を拾うことがで ことができる	できる。				
	\vdash	0						、数量を拾うる 、数量を拾うる						
テキスト・教材							主が年し、	、双里で加入						
参考図書	1	刃めての	建築	積算	学芸出	版社								
	回数				持	受業項	目・内容	 容			授業外学修	 指示		
	1	積算の概	要	積算(の種類・エ	事費の	構成・	積算方式·数量	の計算	教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと		
	2	土工の数量・演習 基礎知識を学ぶ・積算の区分と秩序・設計例・演習 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	3													
	4	地業の数量・演習 基礎知識を学ぶ・設計例・演習 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 鉄筋コンクリート造の積算 基礎知識を学ぶ・積算の区分と秩序 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	5	コンクリー	\- <i>σ</i> .	数量	演習① =	コンクリー	ートの数		基礎梁∙柱	教科書の該当範	囲を事前に読ん			
	6	コンクリー)数量	演習② =	コンクリー	ートの数	大量演習梁・床	—————— 版•階段	教科書の該当範	囲を事前に読ん			
	7	コンクリー)数量	演習③ =	コンクリー	ートの数		別を基に演算	教科書の該当範	囲を事前に読ん			
授業計画	8	確認テス		今まで	の知識の	理解度	を確認	土工・地業工	 事	今までの内容を				
	9	型枠の数	女量 滔	寅習①	型枠の	数量演習	3基礎·	 ·基礎梁		教科書の該当範	囲を事前に読ん	 んでおくこと		
	10	型枠の数	女量 滔	寅習②	型枠の	数量演習	習柱・床	 ₹·梁·階段		教科書の該当範	囲を事前に読ん	 んでおくこと		
								例を基に演算		教科書の該当範	囲を事前に読ん	 んでおくこと		
	12	鉄筋の数	女量の	D積算	演習(1)	基礎知言	哉を学ん	ぶ・設計例・演習	 밀	教科書の該当範	囲を事前に読ん	 んでおくこと		
	-							習 基礎・基礎		教科書の該当範	囲を事前に読ん			
	14	確認テス	:	今まで	の知識の	理解度:	を確認	コンクリート・	型枠	今までの内容を				
	15	まとめと	試話	・・ 負ガイ	ダンス					今までの内容を	復習しておく			
	(1)抗 以」	└──── 受業の中 ヒを下記の	で確 の観	記テ!点・書	ストを2回 別合で評	価する。	0		(筆記)を実放 以上)・C(60g	⊥ 拖する。 点以上)・D(59	点以下)とす	·る。		
			h = :			言語		知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
	定期試験(筆記) ○ ◎ 90%													
評価方法	確認テスト ○ ◎ 10%													
履修上の注意	<u> </u>	出席が10	<u></u> 回に	満た	ない場合	ー は、定]期試	⊥ 験の受験資格	」 Sを与えない。			1		

科目名	キャリア教育 II (選択)												
科目名(英)													
単位	2単位 時間数 30時間 担当者 各担任 2019年度 実施時期 前期 実務家教員 担当科目 建築工学科 3年 企業が求める人材を把握し、就職活動を円滑に進めるための意識付けと、求職票・履歴書の具体的な書方や面接対策など、そのまま就職活動に活かせる実践的な演習を中心に授業を進めていく												
実施年度	20	19年度		5	実施時期		前	期					
対象学科・学年	建築工	 学科 3	3年										
授業概要)具体的な書き		
授業形式	講義:	Δ	演	習: C	実習	:	実持	 支:	※ 主 <i>t</i>	:-る方法:O	その他:△		
		動態度 意欲	その他		l .			目標	<u> </u>				
	00	0						ることができ					
学習目標	00	0						書くことがで					
(到達目標)	0 0	0							ふるまうこと	ができる			
	0 0	0		面接官()質問に対	し、間	問題なく受け	ナ答えができ	কি				
テキスト・教材 参考図書	就職ガー	 イドブッ	ク										
97 0 =	回数				業項目・ア	力灾				授業外学修			
		舌動の#	t-xh		ガイダン				123671 7 12 14 13				
							自己の強み	と弱みについ	て自分なりに				
		票の書き			PR」の書き		自己分析して	ておくこと					
		票記入 書の書き		書き・添		ち望動機」な	白コの学生	中代の経験	また希望企業へ				
	4 と	事の音で	2∕7	「子工	けいこと	企八 和	いた ここ 」 ル	い主判(成)な			考えておくこと		
	5 求職票	票受付 同	面接	について	概要説	明							
	6 求職男	票受付证	面接	練習	し退室・立	ち居扱	長る舞い∙ ね	おじぎ					
授業計画	-	票受付 🗆		—	-12 - 12		第一印象に						
	8 (1)	農受付 🗆					Eしい敬語		──授業内で学習したマナーは日堂生活の!				
	9	農受付面	宜 接	練習 第	間と答え	.万、山	Eしい敬語	の使い万	──授業内で学習したマナーは日常生活のロ でも意識して行うこと				
	10 求職乳	真受付ī	面接	練習道	通しで実践	練習							
	11 求職具	長受付 面	面接	練習道	通しで実践	練習			-				
	12 求職界		面接	練習 道	通しで実践	練習							
	13 企業研					-	ナーに参加				事業内容、事業		
	14 企業研						ナーに参加	DD		に調べておく のまきをにつ	こと いて復習してお		
	15 いろい	ろな報	告書	きの書きる	ら ビジネス	ス文書	い 作成		くこと				
	(1)出席∜ する。		2)受	講態度∙	意欲 (3)	課題	の提出 以	人上の内容を	総合的に判	断し R評価(可、不可)で判断		
					言語情報	日	的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
=== /== >=		出席状		h-					0		60%		
評価方法		構態度・		Χ.	0		0				30% 10%		
	課題の提出 〇 〇 109												
履修上の注意	60%出	席を単位	位付	与条件と	:する	ı					•		

科目名	キャリア教育IV(選択)														
科目名(英)	2単位 時間数 30時間 担当者 各担任														
単位		2019年度 実施時期 前期 実務家教員 担当科目 建築工学科 3年 将来の自分のあり方について考えるときに、仕事と人生の関係をイメージでまとめておくと、人生での各段 における目標が明確ねなり、自分の人生の各場面で「自分に必要なもの」「何をすべきか」見えてくるはず													
実施年度		2019	9年度	更	実	施時期	前	·····································	P 4 800 . 0 . 0 . 0	l					
対象学科・学年	3	 建築工学	:科 -	3年											
授業概要	15	こおける	目標	が明		自分の人生									
授業形式	講		Δ		習: 0	実習:	実	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	意欲					目標							
***	0	0	0	+			己PRをまとめ た志望動機を								
学習目標 (到達目標)	0	0	0	┼					きる ころまうことだ	バブきろ					
	0	0	0	-			、問題なく受し			۳. دو پ					
			+	_											
テキスト・教材 参考図書	京	就職ガイト	ドブッ	ック											
	回数				授美	業項目·内?	 容			授業外学修	指示				
	1	学校から	 ら社:	 会へ	。職業への	 移行①									
	2	学校から	学校から社会へ。職業への移行②												
	3	仕事をで	士事をすることの意義と職業範囲① 仕事とは考えてみる。												
	4	仕事をで	するこ	ことの)意義と職業	——— ≰節囲②			アルバイ等経	験をまとめて	おく				
					社会形成能				自分の体験を	を基にまとめ	ておく				
					生会形成能										
西秦計哩					 倹談をプレセ				アルバイ先とさ	取材をしてる	みる				
授業計画	\vdash				食談をプレセ										
					検談をプレも										
	\vdash	先輩方(身近な先輩と	≃話しを聞い	てみる				
		先輩方(
		先輩方(
	13	自分の料	将来	につ	いて①				GCB教育を	思い出してみ	る				
	14	自分の料	将来	につ	いて②				自分に芽生え	えた志しをま	とめてみる				
	15	自分の料	将来	につ	いて③				字んだ文書の くこと	の書き方につ	いて復習してお				
	(1) する		兄 (2)受					総合的に判断		可、不可)で判断				
	<u> </u>	———				言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法	\vdash	出席状況 ◎ 60% 受講態度・意欲 ○ ○													
1 m > 2 +=4		課題の提出 〇 〇 10%													
		• • •													
	\vdash														
履修上の注意	6	0%出席	を単	位付	†与条件とす	「る									

科目名	3D) • C	AE) I										
科目名(英)	3D•	CAD	(Arc	chiC	ad)									
単位数		4	単位	ኔ		時	間数	(60時間	担当者		山﨑 孝		
実施年度		20	19年	度		実施	時期		前期	実務家教員担当科目		0		
対象学科・学年	建築	€工学	2科3	3年						E3176				
授業概要					3DCADの きるように		操作を学	ぶ。図面植	莫写を繰り返	実力をつけ、ス	オリジナルフ	プランから仮想空		
授業形式	講義	Ė		2	演習:	0	実習:		 実技:	※ 主た		その他:△		
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他				E	 標				
	0	0							題なく基本操					
学習目標 (到達目標)	0	0							基本操作が問 D作図を完成:	題なくできる。 させることができる	<u> </u>			
(P.)	0	0								ナーとの3D作図		 ることができる		
テキスト・教材 参考図書	GRA	AFHIS	SOF	T Ar	rchi Cad-	(Magic	1)+オリジ	ナル資料						
	回数					授業	項目•内:	容			授業外学修	指示		
	1-2	前授	業の	復習	2D作図方法	との操作				授業後、繰返しの総課題は次の授業まで		9		
	3•4				ィニング 3Dイ ィニング 3Dイ					授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		2		
	5•6				・ニング3Dイ ・ニング課題					授業後、繰返しの総課題は次の授業ま	智を推奨する。 でに終わらせること	9		
	7•8	3D#	乍図作	業課	!題図面を用	いて3D	作図②			授業後、繰返しの総 課題は次の授業ま		2		
	9-10													
	11-12	9・10 SDTF図1F未除超図面を用いてSDTF図② 課題は次の検束までに終わらせること。 授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の検束までに終わらせること。												
	13-14	3D#	乍図作	業課	題図面を用	いて3D	作図⑤			授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		0		
	15•16							人一組による 面プランの確	ンプランニング 認、まとめ	授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		2		
授業計画	17•18	3D#	*図3	D作图	図・プランニ:	ングプラン	ノニングニ		プランニング	授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		2		
MANIE .	19-20	3D#	乍図3 乍図3	D作图 D作图	図・プランニ: 図・プランニ:	ングプラン ングプラン	ノニングニ ノニングオ!	人一組による リジナルプラ	プランニング	授業後、繰返しの総課題は次の授業まで		0		
	21-22	3D#	乍図3	D作图		ングプラン	ノニングニ	人一組による	プランニング	授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		0		
	21.22				g・フランニ. g・プランニ:			リジナルプラ 疑応答	J3DTF凶					
	23-24				・ニングオリ ・ニング質疑		ラン3D作[Z		授業後、繰返しの総課題は次の授業ま		2		
	25•26	のプ	ランチ	チェック	図・プランニ: ク 図・プランニ:				らパートナーと相	授業後、繰返しの総課題は次の授業まで		s		
	27-28	のプ	ランチ	チェッ					らパートナーと相	授業後、繰返しの総正の経典を表現である。	護習を推奨する。 でに終わらせること	0		
	29•30				図・プランニ: - -ェック	ングプラン	ノニング 仮	想施主である	らパートナーへの	授業後、繰返しの総課題は次の授業ま	製習を推奨する。 でに終わらせること			
	(1)課題 成績評								割合で評価で は以上)・C(6	する。 D点以上)・D(55	9点以下)と	する。		
	言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合													
预/车七斗					┴課題提↓ ┴課題提↓			0		0		50%		
評価方法	プレゼンボード後半課題提出 © 50%													
						+								
屋板 しかみき	خم بال	FEI#	H 757	亚米	同数の2	/21-7	生セナン・・	 	3 山 4 20 1 4 8		; = t>1.			
履修上の注意	出席	当凹贫	አ <i>ነ</i> ነነ}	叉耒	画数の2	∕ JI-i	両/こない	物古は、抗	E山仏沈は僕	係なく単位を与	・んぱい			

科目名	建築計画V													
科目名(英)	Architectural planning	and design V												
単位数	2単位	時間数	308	寺間	担当者		今泉清太							
実施年度	2019年度	実施時期	前	期	実務家教員 担当科目	l								
対象学科・学年	建築工学科3年													
授業概要	建築計画の知識をより 担う役割は多様である きたか、あるいは実施さ 例えば、地域や都市の い。 主に都市デザイン、また まちを歩く人の視線でも の課題を行う予定であ	。そのため、過去 される可能性がも 歴史を振り返り、 らづくり、都市計画 下市計画を考えら	・現在・未来さるか、各自で それらが現代 画制度、都市・	それぞれどの 意思考を深め 、 社会にどの ・都市計画史	はうな都市計i る必要がある。 ように展開でき について学ぶ。	画やまちづく €るかを考察 。	りが実施されて することが望ま							
授業形式	講義: 〇 演習:	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△							
学習目標(到達目標)	〇〇既存	計画とは何かをの都市計画を設計画各論の知識の	■査・研究して			市計画を模索	する意志を有する							
テキスト・教材 参考図書 		参考図書:建築ガイダンス初めて建築を学人のたに、コンパクト建築設計資料集成、「新建築」等の建築雑誌、プリント 授業項目・内容 授業外学修指示												
授業計画														
評価方法	講義中の課題講評プレゼ 以上を下記の 成績評価基準は、S(90点 定期試験 小テスト 宿題・レポート	見点・割合で評価	i する。											
履修上の注意	出席率60%が単位付与	 「の条件とす。												

科目名	就職実務ⅡA Employment practicesⅡA													
科目名(英)	E	2単位 時間数 30時間 担当者 各担任 2019年度 実施時期 前期 実務家教員 担当科目												
単位数		2 <u></u>	单位 ——		時	間数	308	時間 	担当者		各担任			
実施年度		2019	9年度	Ę	実施	西時期	前	期						
対象学科・学年	3	建築工学	:科 3	3年										
授業概要					·基礎知識を 作品集作成			ど、社会人にな	なる上でのス -	キルを身につ	ける。			
授業形式	講	義: (0	演	習:	実習:	実	技:	※ 主た	:る方法:○	その他:△			
	言語情報	知的 運動 技能		その他	就職活動に	おける企	業研究が行う	目標 うことができる						
学習目標	<u></u>	0			自己分析を									
(到達目標)	<u> </u>	0			作品集を作	成し就職	活動ができる)						
	\vdash													
テキスト・教材	点	」	ゖ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙ヿ゙゚゚゚	ドブぃ	ילים									
参考図書 	L	1	73 11			百口。由?				拉莱州 兰龙				
	回数 1	授業項目・内容 授業外学修指示 履歴書の書き方												
	_	履歴書の書き方 受験企業の研究し求人を探しリストアップ												
	3	受験企業の研究し求人を探しリストアップ 自己分析作成と作品集ブラッシュアップ												
	_													
	_	志望理由チェックと作品集ブラッシュアップ												
	_	就職活動スケジュールを制作 就職活動状況の共有												
					スカ ブラッシュア [、]									
授業計画					 した面接練習	-								
	_						プディスカッシ	ション)						
	_				し求人を探し									
					理由チェック									
	_	就職活												
	13	求人情	報の!	 集め	方や、管理の	の仕方								
	_				した面接練習									
	15	就職活	動スケ	 ケジ:	ュールを制作									
	(1) する		況 (2	2)受							可、不可)で判断			
	\vdash	言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合												
 評価方法	<u> </u>		は席状態度・		≯p .	0	0		0		30%			
町川川八八	H		題の扱		×	0	0				10%			
		5本を至り1を出												
	\vdash													
履修上の注意	6	0%出席	を単	位付	与条件とする	る								

	_													
科目名	Photoshop Illustrator III Photoshop Illustrator 3													
科目名(英)	Photoshop Illustrator 3 2単位 時間数 30時間 担当者 原 将史													
単位数	2019年度 実施時期 前期 実務家教員 担当科目													
実施年度		2019	9年月	吏		実が	地時期	Ē	前期			0		
対象学科・学年	3	建築工学	枓科	3年				•						
授業概要									パースの作成 ックなデザイ			基本を学ぶ		
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習:	0	実習:	美	₹技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能		その他				l .	目標					
		0							こレイアウト処					
学習目標 (到達目標)		0							の補正とグラ メ特性を埋解			アワトか作成で		
(判)注口(床/		0			きる									
テキスト・教材	.1.	<u> </u>	- >) cc.	0010								
参考図書	T	青報リテ	フン	<u> </u>	Office	e2016								
	回数	Illustrator Photoshop を連携したワーク(復省課題への取組 Illustrator Photoshop のインストール												
	1	A)												
	2	Photoshop によるパース作成 レイヤー各種機能 授業内で完了しなかった作業を完了させておく												
	3	3 Photoshop によるパース作成 フィルター、パターン、他 ^{授業内で完了しなかった作業を完了させておく}												
	4	Photos	hopl	こよる	る施設	殳建築 <i>(</i>	のパース	(内観)作成		授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	5	Photos	hopl	こよる	5施記	殳建築 <i>(</i>	のパース	(外観)作成				を完了させておくこと		
	6	施設建	築 <i>σ</i> .)/ [°] (-	-ス(外観)作	F成~ 紛	泉画風加工ノ	パース作成	授業内で完了し	なかった作業を	を完了させておくこと		
極業計画	7	建築施	設σ)/ % —	-ス(線画風	加工)の1	作成		授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
授業計画	8	Illustrat	or 8	を用し	いたし	イアウ	トの基本	デザイン 糸	東習①	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	9	Illustrat	or 8	を用し	いたし	イアウ	トの基本	デザイン 糸	東習②	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	10	有名建	築を	テー	マと	したレイ	゚アウトボ	ードのデザ	イン①	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	11	有名建	築を	テー	マと	したレイ	(アウトボ	ードのデザ	イン①~②	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	12	有名建	築を	テー	マと	したレイ	(アウトボ	ードのデザ	イン②	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	13	建築イ	у—:	ジボ-	ードの)練習作	作品 ~ 基	基本レイアウ	/ ├~	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	14	建築イ	у— :	ジボ-	ードの)練習作	作品 ~酉	記置写真加	I~	授業内で完了し	なかった作業	を完了させておくこと		
	15	建築イ	у— :	ジボ-	ードの)練習作	作品 ~ タ	マイトル・テキ	-スト処理~					
	各一	- テーマ作	成誤	関す	:評価		大果物とと		7種実施、その	」 D提出により	平価			
									0点以上)·C()		
						言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
				7課 題	<u> </u>		Δ	0	Δ			70%		
評価方法			宿匙					0		0		20%		
	受講態度·出席状況 O 10%													
									1					
									+					
履修上の注意	<u>i</u>	— — 单位付与	-1=1	ェ よ、規	定の)授業回	 回数の2/	 ∕3以上の出	ぱ席を必要条	— <u>—</u> 件とする。				

科目名	建築士対策]	(製図)											
科目名(英)	ARCHITECTURAL DE	SIGN DRAWING	3										
単位数	4単位	時間数	608	寺間	担当者		今泉清太						
実施年度	2019年度	実施時期	前	期	実務家教員 担当科目	•							
ままり おりゅう ままま おまま かくりゅう かんしゅう かんしゅう まま かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいかい かいかい はいまれる はいまま はいまま はいまま しゅうしゅう はいまま しゅう	建築工学科3年												
授業概要	2級建築士2次対策レ	ベルに関する:	木造建築構造	きの基礎知識	まから応用を身	身に着ける。							
授業形式	講義: △ 演習:	〇 実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△						
学習目標 (到達目標)	○ ○	紙を読む力がる 建築の課題の 造の矩計図、選 士2次試験問題	特徴、出題傾 f面図の理解	向が説明で し、各部の名	時計算ができ きる。 名称が答えられ								
テキスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築士	設計製図 テ	キスト										
	1 各種図面について断	面図について			前回学習したこ	とを復習する							
	2 共通項目 設計製図		験の制度	特徴とボイ	前回学習したこ	とを復習する							
	2 ント 3 共通項目 設計製図 4 共通項目 設計製図				自己採点表を配知っておく。 試験当時配布ス		させ、減点項目を						
	5 共通項目 設計製図				高齢者に向けた	と対応を調べさ	せる。						
	6 共通項目 製図を始め	める前に 製図	用具、用紙の	セットのし	テキストを忘れれ	ないように							
	7 共通項目 製図を始	める前に (ビ	デオ)様々な	表現	表現方法テキス	トで確認							
	8 線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習 表現方法テキストで確認												
	13 木造 木造専用住宅				色鉛筆 蛍光ペ	?、淮 供							
	14 木造 木造専用住宅			·* 4 -	前回学習したこ								
	15 木造 木造専用住宅		アンキスの		前回学習したこ								
	17 木造 木造併用住宅		に但前 四とが	中国小孙	前回学習したこ	とを復習する							
	18 木造 木造併用住宅		対り、		前回学習したこ	とを復習する							
	19 木造 木造併用住宅			進め方	前回学習したこ	とを復習する							
	20 木造 要求図面 要求	 			テキスト熟読す	る							
	21 木造 要求図面 1階	平面図兼配置	図と2階平面図	Z	テキスト巻末にる	ある答案例確認	図し表現補法確認						
	22 木造 要求図面 立面	面図			テキスト巻末にる	ある答案例確認	忍し表現補法確認						
	23 木造 要求図面 断面	面図			る		とし表現補法確認						
	24 木造 要求図面 2階	床伏せ図兼1階	小屋伏せ図		る		とし表現補法確認						
	25 木造 要求図面 部分				る		図し表現補法確認 [・]						
	26 チャレンジ課題①		せボイントラ	イン引き	テキスト巻末課								
	27 チャレンジ課題①				テキスト巻末課								
	28 チャレンジ課題① 29 チャレンジ課題①	作凶演省 ——— 作図演習			テキスト巻末課								
	30 チャレンジ課題解説	□F区			解説復習								
	(1)課題の提出 (2)課題 成績評価基準は、S(90点	の発表 以上を)(59点以下)	とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合						
評価方法	練習課題	0	0				30%						
	チャレンジ課題①	0	0				70%						
覆修上の注意	出席率60% 未満者	単位付与しない	١,										

科目名		専攻	ぜ	≅ I <i>i</i>	4(必修選択	.)										
科目名(英)																
単位数		4単	单位		時間数	60	時間	担当者		今泉清太						
実施年度		2019	9年月	ŧ	実施時期	Ī	前期	実務家教貞 担当科目	l							
対象学科·学年		建築工	学科	3年					·							
授業概要					建築物の分析・考 う。※パワーポイン		自分なりの住宅	設計プロセス	くを組み立て	、プレゼンテー						
授業形式	講		Δ	演習:	〇 実習:	実		※ 主た	る方法:〇	その他:△						
	言語 情報	知的 運動 技能	意欲	その他	査を元に問題点、	課題占の押:	目標 展できる									
学習目標		0			重立案からの設計			理解できる								
(到達目標)		0			年代の建築物の特											
		0 0		組	み立てた住宅建築	設計のブレ	ゼンテーションカ	ができる								
テキスト・教材 参考図書	:	オリジナ	 -ル:	プリント												
	回数				授業項目·内]容		1	受業外学修	指示						
	1				エンテーション「ラ											
	2		夏1- 長める		くクラップブックをつ	くる】美しい	(好きな)建築									
	3	課是		-2 [2	スクラップブックをつ	つくる】美しし	い(好きな)建									
	4				ディスカッション「建	2築美に関す	る考察」									
	5	課是	頁1 <i>σ</i>	作り直												
	H			・再評価												
	6															
	7				i、次課題の説明											
	8	課是	<u>項</u> 2	デザイン)の基本とは											
	9	発	表と	講評、	ディスカッション「テ											
	10	課是	頭2σ	作り直	L											
	11	再乡	分析	再評価	i											
	12	再分	分析	再評価	、次課題の説明											
	13	課題	夏3	有名建	 築(戸建て住宅)に	学び、考える										
	14				ディスカッション「 3		-									
AR AR AL INI	15			作り直				前回授業内	突の復翌と	未完の作業が						
授業計画								ある場合は		業を終えてお						
	16			·再評価				こと								
	17	再分	分析	再評価	i、次課題の説明 											
	18				築(戸建て住宅)に	学び、考える	5									
	19			講評、 ツション	「建築デザインを	学ぶ(建築部	計の進め方)									
	20	課是	頭4σ	作り直	L											
	21	再分	分析	·再評価	i											
	22	再5	分析	·再評価	i、次課題の説明											
	23	課品	夏5	有名建	築(戸建て住宅)に	学び、考える										
	24	発表	表と言	講評、												
	H				・「建築デザインを _・	字ぶ(建築部	(計の進め方)									
	25			作り直												
	26			·再評価												
	27	再分	分析	·再評価	、次課題の説明											
	28				築(戸建て住宅)に	学び、考える	5									
	29 発表と講評、ディスカッション「建築デザインを学じ(建築設計の進め方)															
	29		ディスカッション「建業デザインを学ふ(建業設計の進め方)													
	29 30	ディ	プリスカッション「建築デザインを学ぶ(建築設計の進め方) 発表と講評 出席率及び提出作品(期限、完成度)に加え、ディスカッション時の積極性(発言回数、意見内容の整合性)に													
	30	ディ 発表 率及び	長と言	講評 出作品(叩え、ディスカ	リッション時の積	極性(発言回	数、意見内容	容の整合性)に						
	30	ディ 発表 率及び	長と言	講評 出作品(期限、完成度)に加	ロえ、ディスプ	コッション時の積	極性(発言回態度·意欲	数、意見内容	容の整合性)に 評価割合						
製価方法	30	ディ 発表	表と言	講評 3作品(評(期限、完成度)に加まる。	知的技能				評価割合						
評価方法	30 出席より	ディ 発表	表と記る	構評 出作品(評)	期限、完成度)に加 面する。 言語情報											
評価方法	30 出席より	ディ発表を表が	表と記る	構評 出作品(評)	期限、完成度)に加 面する。 言語情報	知的技能		態度·意欲		評価割合						
評価方法	30 出席より	ディ発表を表が	表と記る	構評 出作品(評)	期限、完成度)に加 面する。 言語情報	知的技能		態度·意欲		評価割合						
評価方法	30 出席より	ディ発表を表が	表と記る	構評 出作品(評)	期限、完成度)に加 面する。 言語情報	知的技能		態度·意欲		評価割合						

#18名 第 19 (20 Post Part	科目名	市	かも	`= T	B (冰	修選却`)									
単位数						修选机	, 									
		Buil			tion	時間数	60	時間	担当者							
接来報要 接来版 工管理の										l l						
接生版 下部の 東部 地域 日本 1		Z由 Ф			=	天心时别	[IJ <i>†</i> Ŋ	担当科目							
株工図(成設足場計画図・コンリートウは図・仕上図)を理解する コンリーンリーへの発信 (教養日本) 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	为象于件"于平				其礎知識:	を習得する										
1	授業概要	施ココン	L図(仮詞 クリート	設足場 の品質	計画図・ 管理・品	コンクリートで 質検査を理	解する									
## 14 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	授業形式				習: △	」 実習:	美	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
学習目標		情報 技能	運動 態 技能 意	度役その他	+ M-10	**************************************	10 M 10 0 5			- 244 ->						
(製達目報)	学習日担															
安全・環境管理を理解する。 安全・環境管理を理解する。 安本の大学・ 日本の		\vdash)	工程表か	「理解でき、簡	簡単な工程表	が作成できる	ようになる。							
日本		H						を理解する。								
日本 投業項目・内容 投業項目・内容 投業外学修指示 1		0			安全•環	境管理を理解	弾する。									
加工図① 施工図の概要・仮設計画図について解説する プリントの復習をする カレース図を提出する カレース図を関する カレース図を図を含まる カレース図を図を含まる カレース図を図を含まる カレース図を図を含まる カレース図を図を含まる カレース図を図を含まる カレース図を含まる		配布	カプリント	<u> </u>					T							
2		回数			抒	受業項目•内?	容			授業外学修	指示					
			I図①)	施工図	の概要・仮	設計画図につ	ついて解説する	5	プリントの復習	Pをする						
		3 tets -	T 図②	모셔하	ள் ஜா ಸ ு	FI (10)	詳細図につい	ア解説オス	プリントの名写	きなさる						
		4	T [2] (2)	仁物 司		피언.꼬떼진.	井神凶に グい	て 所作 武 ダ る	フリンドの接自	1290						
8			6 加工図③ た場計画図のドレーへの1F成 ドレーへ図を採出する 7													
10 施工図(6) コンクリート寸法図のトレースの作成		8 施工図(4) コングリート寸法図について解説する 書き込み内容 プリントの復音をする														
12		9 施工図の コンクリート寸法図 平面図・断面図 注音事項 プリントの復習をする														
15			工図⑥ :	コンクリ	一ト寸法図	図のトレースの)作成		トレース図を提	昆出する						
16 施工図® タイル割図について解説する		13 14 施二	工図⑦ (仕上図	について角	翼説する			プリントの復習	『をする						
17 施工図® タイル割図のトレースを作成する トレース図を提出する 19 コンクリートの品質管理・調合計画を解説する プリントの復習をする 21 工程管理 ネットワーク工程表・歩掛りについて解説する プリントの復習をする 22 工程管理 簡単な工程表を作成する 工程表を提出する 工程表を提出する 25 作業所の見学 作業所の施工管理の仕事を理解する 工程表を提出する 27 コンクリートの強度試験・品質検査を理解する プリントの復習をする プリントの復習を表現を表現を表現を表現を含まる プリントの復習を表現を含まる プリントの復習を含まる プリントの変更を含まる プリントのので	授業計画	15 16 施-	工図8 :	タイル害	削図につい	て解説する			プリントの復習	『 をする						
19			工図8 :	タイル害	別図のトレ・	一スを作成す	<u> </u>		トレース図を提	ととしまする こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしゅう しゅう						
21		19 7	ノクリート	の品質	管理·調合	計画を解説す	ナる		プリントの復習	『をする						
23		21	程管理:	ネットワ	一ク工程	表・歩掛りにつ	いて解説する		プリントの復習	 !をする						
24 25		23#	程管理 (簡単か	工程表を作	作成する			工程表を提出す	·న						
26		24					を理解する									
28 29 安全管理・環境管理について理解する		26														
30 女主官理・環境管理に JCC 理解 9 る		28														
以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。																
評価方法 作品提出 ⑤ O 80% 宿題、レポート O 20%		以上を	下記の勧	観点・害	削合で評価	西する。			ī以上)·D(59;	点以下)とす	る 。					
作品提出 © O 80% 宿題、レポート O O 20%						言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
	計価方法		作品	提出			0		0		80%					
履修上の注意 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。			宿題、し	ノポート	•	0	0				20%					
履修上の注意 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							1									
履修上の注息 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。			<u>- , </u>		4	. , , <u></u>	FA = ==:::	<u> </u>								
	履修上の注意	出席	常が10回	川に満た	とない場合	うは、定期試 	験の受験資 	答を与えない。 								

-															
科目名	77	数学	ゼミ	Ш	Ą										
科目名(英)															
単位数		1 i	単位		瞬	間数	158	寺間	担当者		吉田麻美				
実施年度		201	9年月	隻	実	施時期	前	期	実務家教員 担当科目	l					
対象学科•学年	廷	建築工学	科	3年						·					
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す 講義: Δ 演習: 実習: 実技: ※ 主たる方法:〇 その他: Δ 高額 知的 技能 規能 機能														
授業形式	講	義:	Δ	演 [:]	習: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
		知的 運動技能 技能						目標							
	0	0			文字と式を	応用した関	関係式が解け	る							
学習目標	0	0			1次方程式	を応用した	と関係式が解	ける							
(到達目標)	0	0			比例と反比	:例の応用	問題が解ける	; 5							
	0	0			平面図形の)応用問題	が解ける								
	0	0			空間図形・	立体の応	用問題が解け	る							
テキスト・教材 参考図書	7	オリジナル演習プリント													
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	1	【応用問	引題》	寅習】	正の数と	 負の数					必ず復習・解答				
	2	【応用問	月語:	宇宙】	ママンボ	加法上減	法、乗法と徐		→の上再提出す また 理解で		問題は質問事項を				
	3						小数・分数を含		記入して担当						
	3				1次方程式		小致・刀 奴で i	3亿万怪式							
授業計画	4	(容量、	過不	足、	速さに関する	る式)									
	5	【応用問	引題》	寅習】	比例と反り	北例									
	6	【応用問	引題》	寅習】	平面図形	作図、扇	形の計量、面	i積計算							
	7	【応用問	引題》	寅習】	空間図形	体積·表	面積•回転体	の体積							
	8	【応用問	引題》	寅習】	立体の切	断と体積									
	(1) する		況((2)受							可、不可)で判断				
					Ī	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
			席も				_		0		60%				
評価方法	受講態度·意欲 O O 30%														
	課題の提出 〇 〇 10%														
履修上の注意	6	0%出席	を単	位付	与条件とす	る									

科目名	E	BIM 専攻ⅢA(選択)												
科目名(英)	E	Building Informatio					Mod	eling	ША					
単位数		1単位					時	間数	1	5時間	担当者		道脇 力	
実施年度		2019年度					実施	時期		前期	実務家教員 担当科目		0	
対象学科•学年	3	建築系3年												
授業概要		·ARCHICADのチームワーク操作の習得。 課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。												
授業形式	講	義:			演	習:	〇 実習: 実技:			※ 主たる方法:○ その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語 情報		運動 技能	態度意欲	その他	目標								
				0	チームワーク機能を効果的に活用してモデリングを行うことができる。 課題に必要な情報収集を行うことができる。									
	0	_	○ 課題に必要な情報収集を行うことができる。 ○ ○ ゾーンツールを使ってボリュームスタディができる。											
			0 0 1 1 2 2 NERSCHILL ANSIANICES.											
テキスト・教材 参考図書	7	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)												
授業計画	回数						授業項目·内容				授業外学修指示			
	1	チー	ムワ	<u></u>	フの根	既要、 T	デル	入力「木	テキストを見て予習を行うこと					
	2	モデル入力「木造軸組②」データチェック									前回の復習を行うこと			
	3	課題:複合ビル「情報収集」									情報、資料収集を行うこと			
	4	課題:複合ビル「エスキス①」									情報、資料収集を行うこと			
	5	課題:複合ビル「エスキス②」									情報、資料収集を行うこと			
	6	課題:複合ビル「エスキス③」									情報、資料収集を行うこと			
	7	課題:複合ビル「制作①」									情報、資料収集を行うこと			
	8	課題:複合ビル「制作②」									情報、資料収集を行うこと			
	9													
	10													
	11													
	12													
	13													
	14													
	15													
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。													
			<i>2</i> ∕4 =	<u></u>			一百	語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	発表·作品 課題提出						-		© ©		0		50%	
			- IA-N	KZZ JAC									00/0	
履修上の注意		出席が	₹609	%に	満た	ない場	合は	、単位を	認めない。					